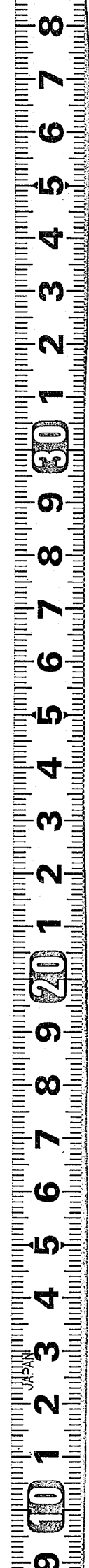


レモホテルニ居住ス大使ハ一時獨人ト共ニ米軍ニ連行セラレシモ
日本側ノ抗議ニ依リ再ビ歸投セリト詳細外務電。

海軍

第...
十...
第...



4/8

五二二 受信二〇〇三〇六 歸了二一一五 電一〇九五二 航人 本

海軍

東 通

聯合艦隊口・五航空艦隊口

大村 航空 基地

機密第二二一七〇一電

發 第三四三航空隊司令

宛 人事局長

通報GF參謀長 第五航空艦隊參謀長

當隊第十三航空艦隊ヨリノ搭乗員大部ノ轉入ヲ終了遂次新編成ニ依
リ訓練ヲ開始シアルトコロ既發令ノ大村航空隊搭乗員ニ關シテハ幾
度モ折衝スルモ同隊ニ於テ轉出ヒシムル意志ナク末ダニ見込立タズ

通一二二七五 日一四夕十一(四七四二・五K)五AF海軍

田中(以日)

飛行機隊ノ編成モ出来サル狀況ナルヲ以テ當基地機密第一八四七五
四番電ニ關シ至急取計ヲ得度。

海

軍

第十段

親展扱

五 一二三

受信開始 〇九〇〇二

譯了 一〇三〇

電 一一一四四

特作

在 瑞典 (STOCKHOLM)

軍司令部第三部長

機密第二六七番電 二分ノ二二二一三〇

敵側報道其ノ他ヲ綜合セル降伏後ノ獨逸艦艇現在迄ノ動靜左ノ如シ

(前報道ノ分ニ重複ス)

一 水上艦艇

- (イ) HILF 所在重巡 ADMIRAL HIPPER (「ミツタ」内ニテ破壊) 乙 巡 EMDEN (坐礁炎上) 艦 遂艦 一 (内四 ELBING 級)
- (ロ) COPENHAGEN 所在重巡 PRINZ EUGEN 乙 巡 NURENBERG 艦 遂艦 三水

雷艇 二

通 一一二五 一九七

茂 B

419

(A) SWINEMÜNDE 所在豆茂灣 LUTZOW 級戰艦 SOHLESIEN (僅一沈没)

(B) WILHELMSHAVEN 所在之巡 KOHN (沈没) 水雷艇一

(C) SEEFELT 所在空母 GRAF ZEPPELIN (未完成ノ儘損傷)

(D) Gdynia 所在巡戰 GNEISENAU 級戰艦 SCHLESWIG-HOLSTEIN

(何レモ自沈)

(E) KÖNIGSBERG 重巡 SEYDLITZ (爆破)

(F) 右ノ外ノ諸港ニ約驅逐艦一〇水雷艇九及小艇母約一二〇〇アリ

三、潜水艦

正確ナル數字ハ不明ナルモ五月十七日迄ニ判明セルモノ概ネ左ノ如シ

(1) 大西洋方面ニ出撃中ノモノニシテ降伏敵港ニ入りタルモノ三八隻
ハ内少クトモ四隻ハ使用ニ耐ヘザルモノノ如シ

(2) 獨逸諸港ニ止マリアリアルモノ BREMEN 建造中ニシテ殆ド完成セルモノ九隻(但シ破壊) GUXHAFER 七隻 BRUNSBORHEL 四隻

HELLIGOLAND 七隻 KIEL 一隻 其ノ他一二隻自沈 WILHELMSHAVEN 相當數全部自沈

(3) 「ノールウエー」及佛沿岸基地ニアリタルモノ約一〇〇隻(状態不明)

(4) 未ダ敵港ニ入ラザルモ艦位ヲ通知歸途ニアルモノ約三〇隻。

五 二二

緊急發展

緊急發展

電一五八

共

參作

橋本

行

九〇一空下・第一護衛艦隊

大海參一部・海軍總隊口・航空總隊口・佐領、吳鎮、鎮警各口

機密第二三一四三三番電

發給 GEB 參謀長
 朝鮮海峽方面ニ於ケル海軍上交通保護ニ關シ第五航空軍ノ一部ハ第二
 總軍及第十七方面軍ニ協力敵大型機ノ邀撃ニ任ズルニ付船團ノ運航
 狀況竝ニ九〇一空戰闘機ノ邀撃要領寺ニ關シ關係隊軍ト緊密ニ連絡
 ノ上邀撃戰果發揚ニ努メラレ度。

通三二七一 呂二 B

421

作戰特別要務

五 二三 受信 二二一五 譯始 二二五〇

譯了 二三〇五 電 一一四一二

參 航 作 本 本 〇

海 軍 總 隊 口

六 航 軍 派 遣 通 信 隊 各 航 空 艦 隊 口 ?

大 海 參 一 部 ・ 東 通 ・ 佐 領 口 ・ 陸 軍

二 三 一 一 九 〇 一

通 過 先 第 六 航 軍

參 考 八 飛 團 第 五 航 空 軍 航 空 總 軍 三 二 二 一 一 〇 方 面 軍

參 謀 次 長 沖 根 (三 二 軍 氣 付)

G B 通 令 作 第 五 七 號

菊 水 七 號 作 戰 日 子 二 十 五 日 二 延 期 ス

通 一 二 八 三 四 協 作 (B)

98

2016

422

五
二四 受信 〇二二五五
譯了 〇一〇五電 一四一三 人事

親展

人事局

機密第二三二〇二九番電

發 南東方艦隊參謀長

南東方方面艦隊軍法會議（海軍）錄事小山鐵樹。書記官敎諭太田新井伊助。關完之助ニ對スル五月十五日附法務科武官任用官等俸給及在籍鎮守府知ラサレ度。

通二二八五九 仁D、五一二五KO、八通 軍

第十區隊

五

設始一七三三七

譯了一八四五 局一八二九

運作 核和

親展

横

通

父島方面根
東京通信隊

機密第二四一三〇五番電

發 横鎮參謀長

通報 大海 G B P 第二輸送隊司令 横須賀運輸部 第九號輸送艦

五 月末頃第九號輸送艦ヲシテ父島竝ニ二見港挺身輸送竝ニ航空揮發油

ノ還送ヲ實施セシメラルル豫定ニ付諸準備ヲ進メラレ度

通一三二二七

呂四

(二五五七五)C

横須賀

中

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9

424

五

三四

受領一九七四八

歸了一九五八

電一一八二八七

人事

親

● 第八艦隊 戸

● 八

通

● 東京通信隊

機密第二四一四一八番電 二分ノ一二

發 南西方面艦隊參謀長

通報 人事局長

貴機密第二二一二三五番電返

貴司令部幕僚ノ減員ニ對スル苦痛ハ重々諒察スルトコロナルモ當司令
部ニ於テモ先般參謀三名ノ内地歸還アリ又現在員中三名ハ部隊指揮官
ヲ兼テ常時兼務部隊ニ勤務シツツアリ合計六名ヲ減ジタル實情ニアリ
且第八特根トノ合體ニ依リ處理事項ノ増加セル現狀ニ於テハ是以上ノ

通二三三四 一三三七四 呂二百七七(一七六三〇〇)八通 海 軍(一)

9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8

職員ハ忍ビ得ザルニ付第八艦隊參謀ト第一特根參謀トノ間ニ事務分擔
 ノ調節又ハ實質的合體ヲ行ヒ此ノ苦境ニ對處スル如ク考慮セラレ度意
 同ナリ。

海軍

第十艦隊



427

無線

五三〇九

開始〇六三〇

終了〇七〇〇

電報電報
三三三三
八七七七
〇九八七

特作〇

在スエーデン武官
ハストツタホルム

大田・艦長

機密第三七八番電 四分ノ一三三馬

三八一三〇〇



後備者 阿部中將

通信者 大田 艦長

機密第三四二番電 軍令機密第三一七番電開聯

「ケスタ」空軍大尉一行搭機潜水艇ノ米軍降伏ニ關シテハ五月十七日敵側放送以後密力ニ於テ之ガ確否ヲ決スベキ資料ハ得難クザル各般ノ情報ヲ綜合シ事實タル事案トシテ之ノト斷ル從テテ二名ノ日本艦

通 一五九六六、一五九六七
一五九六九、一五九七〇

茂月

海軍

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

軍士官の任用、友水兩校衛中佐にシテ兩官の兼ホテテ決意ニ基ツキ
 壯烈自決中ニホテ夫認メテ兩官ハ出陣ニ際シテ夫ノ如ク區區ナク決
 意ヲ抱キ居ル事即チ途中如何ナク情勢變態ニ遭過スル事亦兩校衛
 ナルヲ遂ニ日本側艦地ニ懸置セシメ轉ニ對テ聯合國側ニ降参調停ニ
 德國艦隊ニ入港スル命令發シテ其ノ場合ニ於テ其艦長等シテ獨
 斷專行ニ依リ其ノ初志ヲ貫徹セシム事ナク其ノ敵艦ヲ撃シ入ル如
 キコトヲ其ノ場合ニハ自決スル處ナクモシテ其ノ準備ヲ盡ハ居ル
 シキニシテ兩官ハ右決心ニ基キ有ニ其努力ヲ爲シテ其ノ不勝ニシ
 テ其ノ目的ヲ達スル能ハズ經テ自決スルニ至レル事ナク僅儀ニ兩官
 ナル其ノ人格高潔ニシテ至誠奉公ニ一貫シ勤務又拔群ニシテ轉ニ此
 ナル壯烈ナル最後ノ其ノ軍人ノ勳績トスルニ足ル事ナク其ノ依リテ右兩
 水艦ノ降伏ヲ導宣ナク限リ兩官ハ作戦中ノ密水艦ニ於テ戦死スル事
 ナトシテ處理スル事ナク其ノ事ナク其ノ戰死認定方具申ス尙兩官ハ在歐中

海軍

